



発行所
財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部44円
題字 井戸 知事

火のしまつ
君がしなくて
誰がする

自治体消防制度六〇周年記念

「ひょうご消防のつどい二〇〇八」開催

平成二〇年十月二六日(日)、赤穂市文化会館ハーモニーホールにおいて開催しました。



ひょうご消防のつどい2008

このつどいは、永年にわたり消防業務に従事してきた消防職員・消防団員の功績を讃えた表彰を行うとともに、幹部の研修を行い、士気の高揚と知識・技術の研鑽を深めることを通して消防人の強固な団結と消防機関の連携体制を確立することを目的に開催されました。

当日は、開催地の団長でもある望月副会長のことはに始まり、国歌吹奏、黙祷につづき、関山会長あいさつ、知事(代理齋藤副知事)式辞、豆田赤穂市長の歓迎のことばのあと、知事表彰、消防協会会長表彰が各団体、代

表受領者に手渡されました。その後、来賓の方々より祝辞をいただき、受章者の代表として神戸消防団松本団長より謝辞が述べられ、第一部は終了しました。

そして第二部では、関西学院大学総合政策学部教授室崎益輝氏を講師に迎え、「明日の消防のあり方を考える」の演題で講演をいただきました。独立行政法人消防研究所理事長、消防庁消防研究センター所長を歴任されている室崎氏の講演は、防災に携わる者にとっても非常に興味深く、そのユーモアにあふれた話し口に自然と引き込まれ、まさに消防のあり方について考えることができる意義深い講演でした。

コミュニティを基礎とした防災体制が欠かせないと講演の中にもありましたが、永年消防業務に携わっている方だけではなく、一般の方もわかりやすく消防の知識を学ぶことができたのではないかと思います。最後は次回開催地(但馬地区)の西垣副会長の閉会の言葉で幕を閉じました。

第一部で行われた表彰は次のとおりです。

- 兵庫県知事表彰
 - 〇表彰旗 豊岡市日高消防団
 - 〇竿頭綬 神戸市長田消防団
- 〇功労章
 - 消防団員 四七名
 - 消防吏員 七三名

〇永年勤続功労章
消防団員 一七六名
消防吏員 一一四名

- 〇表彰状 兵庫県知事感謝
 - 〇永年勤続功労者賞 二名
 - 〇家族の賞 消防団員 五一七名
 - 消防吏員 八八名
 - 〇親子二代の賞 五六組
 - 〇消防協力者賞 個人 二名
 - 事業所の部 二団体

兵庫県消防協会会長表彰
〇表彰旗 神戸市水上消防団

- 〇竿頭綬 神戸市東灘消防団
- 三田市消防団
- 豊岡市出石消防団
 - 〇功績章 一三八名
 - 〇精進章 二二八名
 - 〇勤続章 三五〇名
 - 〇精勤章 四五三名
 - 〇家族の賞 三〇年以上 一〇六名

第二二回全国消防操法大会開催

神戸町消防団が準優勝(第二位)!!

平成二〇年十月十二日(日)に東京ビッグサイトにおいて、第二二回全国消防操法大会(主催 財団法人日本消防協会)が開催されました。

秋空の下、全国から出場隊や応援者など二三、〇〇〇人以上が集まった今大会は、全国から選出された出場隊の入場行進から盛大に始まり、日消旗入場、日本消防協会副会長による開会宣言、国旗掲揚、前大会優勝隊からの優勝旗返還が行われました。続いて、片山日本消防協会会長から挨拶のあと、河村内閣官房長官、中村総務大臣政務官、小林全国消防長会会長から来賓祝辞、谷川東京都副知事から歓迎の辞が述べられました。その後、審査長から競技上の注意、選手を代表して石川県能登町消防団の選手による選手宣誓が行われ、開会式は終了しました。

そして、いよいよ操法競技が開始されると、各都道府県代表として、ポンプ車の部二四隊、小型ポンプの部二三隊の出場隊は日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、熱戦が繰りひろげられました。選手の一糸乱れぬ動きと、洗練された操法に、全国から集まった応援者からは大きな声援と拍手が沸き起こっていました。



おめでとう神戸町消防団

兵庫県からは、神戸町消防団がポンプ車の部に出場しました。過去の全国大会でも優秀な成績を収めている神戸町消防団ですが、今回も兵庫県代表として見事な操法を披露しました。その安定性もさることながら、選手だけではなく神戸町消防団が一丸となった気迫あふれる操法でした。

全ての競技が終了後、審査結果が発表されるまでの間、消防団多機能型車両の訓練展示が行われ、その後、審査長から審査結果の発表に続き、表彰式が行われ、神戸町消防団は、見事準優勝(第二位)に輝きました。

神戸町消防団の皆様おめでとうございます。

引き続き閉会式が行われ、万歳三唱、国旗降納、日本消防協会副会長による閉会宣言があり、全ての日程が終了しました。

神戸町消防団をはじめ、関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。

四〇年以上 一九名
五〇年以上 三名

なお、これらの表彰は、消防業務に精励し、防火思想の普及、消防施設の整備、災害の防衛に関する対策の実施等について、その功績が特に優秀な消防団、事業所及び消防職団員やそれを支えたご家族の方々、また、その勤務成績が優秀で他の模範となると認められる消防職団員に対して行われるものです。

暑い夏が、長いようで短かった夏が終わったというのが実感ではないでしょうか。

なお、大会結果については二面に掲載しております。

「消防団活動を振り返って」

元加古川市消防団

副団長

中島 康弘



私は、昭和四十九年四月に加古川市消防団に入団し、平成二〇年三月三十一日まで三十四年間、消防団員として活動してきました。退職後は、町内の自主防災組織で今までの体験を生かし活動しています。

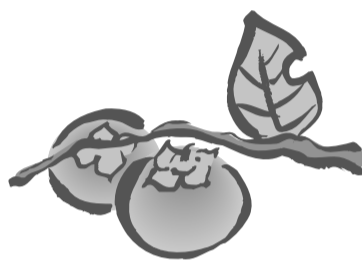
入団時の加古川市消防団は、一市一団十二分団で定員二、五〇〇名でしたが、合併と人口増加に伴う新設及び改正等により、現在は一市一団十九分団で定員一、二〇〇名になっています。

消防団今昔

53

入団当時、私たちの地域では、青年団を終えると共に、法被が自宅に届き、村の消防団に入団するのが通常の流れになっており、若者も多かったため、三五歳を境に団員と班長以上の階級に分かれた構成になっていました。地域と密着した活動も多く、各町内会の行事には積極的に参加し、住民に喜ばれていました。しかし、時代が進むにつれて、常備消防の充実や資機材等の整備が進む中、消防団の役割が少しずつ変化するとともに、団員のサラリーマン化が進み、若い人達が入団を敬遠するような傾向が出てきたために、本人又は両親に入団を勧誘に行くこともありました。

ご乗り演技を加え、一人でも多くの市民の皆様にも勇姿を見せたい、消防団に対する理解と協力を呼びかけています。また、平成十八年には、女性消防団を発足し、地域での色々なイベント等にも参加し、女性の特長を生かした予防活動や救急普及活動も展開しています。退団後も今まで体験したことや、活動したことを生かし、一市民として防災に協力していきたいと思っています。



「市民と歩む消防団」

丹波市消防団

専任副団長

岩澤 宏一



丹波市消防団が合併し、はや四年が経とうとしております。当初は旧町のやり方の違いから多少の戸惑いもありましたが、今は団長を中心に団員二、六九六名、市民の安心安全のため頑

張っております。私は昭和五七年に入団し二六年になりますが、当時入団する時は、消防団に入って一人前と認識をしていたものです。二六年の間には、阪神・淡路大震災の時に消防団としてグリーンピア三木へ応援に行かせてもらいました。次から次に来るトラックの列、荷物を降ろしては別のトラックに水、食糧を積み込む仕事ですが、少しでも役に立ちたい気持ちで頑張った記憶があります。また、消防団に入団したお陰で良き仲間と出会う事が出来ました。一人では何も出来ませんが、

人と人を知る事によってチームワークが生まれます。消防団は昼夜に関係なく火災や災害など常に危険と隣り合わせですが、その時には、互いに信じ助け合いながら市民の生命財産を守ってきております。そして、今までにないゲリラ豪雨、巨大化する台風、予測の出来ない事への対応など問題は山積みです。今後は、市民と歩む消防団も大事だと考えております。市民に対して、防災の知識を学んでもらうと共に、市民が消防団に関心を持ってもらえるように、消防団は努力すべきだと思います。

地区通信

歴史の息吹と消防

太子町消防団

私たちのふるさと太子町には、飛鳥の時代から、尊い歴史の証しとして聖徳太子の精神が語り伝えられ、町の至るところで、今も歴史の面影がとどまり、文化の香り高き伝統が風土として息づいています。

文化的建造物の保全のための文化財防火訓練等、消防活動も多岐にわたる様々な訓練を実施しています。

太子町の消防団員は、五三分団、定員四五七名で活動を行っています。過去の組織改編からの編成であるため、活動は、自治会に根ざした消防活動を行っています。主な活動は、消火栓や消防器具の点検を行い、有事に備えております。そして、分団員の消防方向上のために水防・防災訓練、操法訓練を行っています。

平成二〇年度は、西播磨消防操法大会への出場チームの選抜操法大会として第三〇回太子町消防操法大会を開催しました。

太子町の操法大会では、ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部に併せ町独自の消火栓操法の部の競技を行います。今年度は、ポンプ車操法の部に五分団、小型ポンプ操法の部に四分団、消火栓操法の部に十分団の出場がありました。消火栓操法の部への出場団が多いことは、当町の特徴であります。大会前日が雨であったため、グラウンドがぬかるんだ中での競技大会となり、選手にとって悪いコンディションでありましたが、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮する機会となりました。緊張した面持ちで競技に挑んだ選手達でしたが、家族や自治会の声援を背に大活躍しました。

太子町消防団は、聖徳太子の教えである「和を以て貴しと為す」をモットーに、人と人との繋がりを大切に、消防力向上を目指し、消防団員の意識向上と団員確保を行っています。



消火栓操法の競技



小型ポンプの部					
順位	種別	都道府県名	出場消防団名	総合得点	タイム(秒)
1	優勝	福岡県	福岡市西消防団	92.00	41.34
2	準優勝	長崎県	壱岐市消防団	90.00	43.31
3	準優勝	高知県	高知市消防団	89.50	41.50
4	準優勝	長野県	上田市消防団	88.00	42.37
5	優秀賞	山形県	西川町消防団	87.00	41.82
6	優秀賞	茨城県	太子町消防団	85.50	44.31
7	優秀賞	鳥取県	日野町消防団	84.50	43.08
8	優秀賞	秋田県	三種町消防団	84.00	44.40
9	優秀賞	宮崎県	日之影町消防団	83.50	43.30
10	優秀賞	埼玉県	小鹿野町消防団	83.00	43.56

ポンプ車の部					
順位	種別	都道府県名	出場消防団名	総合得点	第1線・第2線合計タイム(秒)
1	優勝	岡山県	和気町消防団	190.00	110.56
2	準優勝	兵庫県	神河町消防団	189.00	111.38
3	準優勝	岐阜県	揖斐川町消防団	188.50	111.19
4	準優勝	石川県	能登町消防団	187.00	112.63
5	優秀賞	島根県	松江市消防団	187.00	115.08
6	優秀賞	愛媛県	八幡浜市消防団	185.50	111.93
7	優秀賞	広島県	福山市消防団	185.50	112.69
8	優秀賞	岩手県	一戸町消防団	184.50	112.47
9	優秀賞	青森県	八戸市消防団	183.00	107.86
10	優秀賞	群馬県	昭和村消防団	182.00	111.61

第二十二回全国消防操法大会結果

「今日一日の努力」

豊岡市出石消防団

藤井 正昭 団長



豊岡市出石消防団 藤井正昭 団長をご紹介します。

藤井団長は、江戸時代には五万八千石と采えた城下町の中で、現在も風情のある街並みが残る「但馬の小京都」と呼ばれ、年間観光客九〇万人を迎える観光地の中心地である八木通り商店

わがまちの団長さん

154

「団員の心は一つ」

養父市消防団

浄慶 康治 団長



養父市は県北部の但馬地域の中央に位置し、西部には県下最高峰の水ノ山や鉢伏山、八千高原、若杉高原が、北部には妙見山がそびえるなど、雄大で美しい自然に囲まれています。

養父市消防団は養父市誕生と同時に発足し、四方面隊、五〇分団、団員数一、三二一名、車両一〇五台の大きな組織となり現在も従来からの出動体制を維持し団活動を行っています。浄慶団長は、昭和四〇年四月に団員を拝命し、平成一〇年か

街で、お父様から商売を継ぎ三九年、奥様と二人三脚で洋品店を営んでおられます。ご夫婦とも温厚・誠実な人柄で、趣味はスポーツ・水彩画と幅広く、自らの健康管理にも気を配り、毎朝のウォーキングにより、若い団員にも劣らない体力の持ち主です。

幼少の頃からお父様の団員としての姿を見て育ち、町民の「生命・財産」を災害から守ると言う消防の使命のもと「出石消防団」へ三八年前に入団以来平成一四年には副団長、そして本年四月には団長に就任されました。

平成一六年の「台風二三号」による大災害時は、副団長として最前線で陣頭指揮を取り、不眠不休で災害に立ち向かわれました。その時の自らの危うい経験を踏まえ、生活様式の多様化や環境の変化等により、災害も複雑大規模化する傾向にある中

加東市は、東は篠山市、三田市、南は小野市、三木市、西は加西市、北は西脇市と接し、兵庫県中央部や南より位置し、その中心部は、古くは佐保神社の門前町として栄え、明治時代に加東郡役所が設置され、

北から南から

山よし！技よし！文化よし！夢がきらめく元気なまち加東

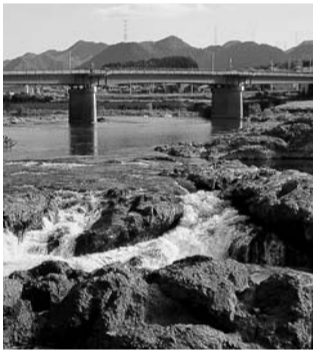
加東市消防団

平成十八年三月二〇日、旧加東郡三町の社町、滝野町、東条町が合併して加東市が誕生しました。

現在も国や県の機関が置かれる北播磨の行政の中心地でもあり、市内には多くの文化財、史跡があり、加東遺産として選定されています。

加東市は、朝光寺本堂が室町時代初期の建築といわれ、緑に包まれた静寂の境内には、近くにつくばねの滝の水音が聞こえてきます。

また、国の重要文化財として、黒谷の若宮八幡宮本殿、上鴨川の住吉神社本殿、そしてこの住吉神社では毎年十月四、五日には五穀豊穡・無病息災を願って神事舞（国指定重要無形民俗文化財）が奉納され、七世紀の長きにわたって伝え続けられている神事芸



黒龍灘

地区通信

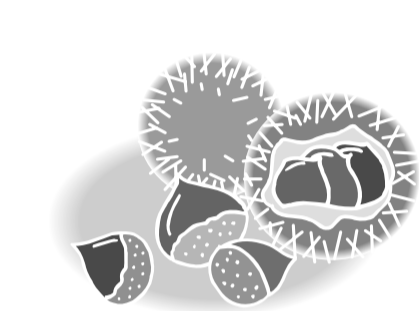
「指導員集まれ！」

神戸市西消防団

併せて災害時要援護者避難支援や台帳更新を実施するといふ訓練を考案され、「地域が一丸となって地域住民の命を守る」ための礎を築かれました。

平成二〇年九月二〇日（土）晴れわたる青空の中、神戸市西

「北井団長に頭中！」野口義美 神出支団長の快活な号令の下、訓練が始まりました。



この日は、神戸市西區長・西消防署長が激励に駆けつけてくださり、緊張も高まる中で訓練が始まりました。

この訓練は、基本的な水防工法を消防団員に周知徹底するため、支団本部役員を対象とした指導員育成を狙ったもので、水防工法の基本三パターン（積土



水防工法訓練



消防団の資質向上のために

能があります。史跡では、播磨平野を一望できる五峰山の頂上には、光明寺があり、観応二年（一三五年）足利尊氏と直義が対立した光明寺合戦は「太平記」に記載されています。秋にはモミジの名所で、たくさんの方が訪れています。



三草山

五峰山の東側に流れる加古川には黒龍灘があり、飛び鮎の名所として有名で、五月一日には、日本一早く鮎漁が解禁されます。源平古戦場の三草山は、標高四二三・九メートル、一一八四年源義経が平資盛を夜半に襲撃した三草山合戦で有名な山で、現在は三カ所の登山道があり、山頂からは明石海峡大橋や淡路島が一望できます。

これらの史跡や文化、豊かな自然に囲まれた加東市を加東市消防団七五分団、一、二、三、六名で市民の生命と財産を守るため日々訓練を行い、災害のないまちを目指しています。

われら若手消防団員

〈13〉

「消防団員の一人として」

洲本市消防団都志分団

宮下隼人



私は、就職したのと同様に地元の消防団に入団しました。職場の先輩の誘いで入団したのですが最初は、消防団と聞いてもどのような人達で構成されている組織なのか、具体的にどのような活動を行っているのかは、全く知りませんでした。入団式のときに研修があり、組織構成や普段の消防団の活動について教えていただきました。私は今まで地元の消防団は、火事の現場に行っても消防士の方達の補助的な活動をしたり、主に怪我人の搬送などの仕事をするのだと思っていました。しかし、話を聞いてみると自分達でホースを設置し、筒先を持って本格的な消火活動を行うと聞いて驚きました。また、実習訓練では、整列の仕方からホースの巻き方までを分かりやすく教えて頂きました。簡単に見えるホースを伸ばす作業も思った方向にホースが伸びないなど、反復練習の必要な作業ばかりでした。研修を終えた時には、消防活動の難しさを思い知ると同時に、地元の消防団に属している方々の苦労と日頃の消火活動に対する感謝の気持ちが芽生えました。家に帰ってからも教えてもらった事を思い出しながら、実際に火

事の現場に出た時に自分がすべき事を考えたりしていました。しかし、実際に現場に出てみると、研修の時とは違って限られた時間の中で迅速な行動、安全性、確実性、が求められ、生まれて初めて身近でみる炎にただただ圧倒されるだけでした。先輩方が、迅速に消火活動に当たっている中、自分は何をすればいいのかわからず、動きにくい足場と現場の慌ただしさに体力を奪われ、終わった頃にはヘトヘトになっていました。私の1回目の出勤は何もできないままに終わってしまいました。消火活動には素早いホースの伸ばし方という高度な技術が必要と考えていましたが、実際は自分で考えて行動する事や、体力、他の団との協調性が必要だと一件の火事を通して教えられました。

未熟ながらも何度か火事の現場に出勤し、消防活動にも多少自信を持ち始めた頃、班長から私に市消防操法大会への出場の話がありました。まだ、消防団に入団してから一年しか経っておらず、火事の現場に出勤したのも数えられるくらいだったので、最初は戸惑いしましたが、自分の消防活動の能力向上のために出場することに決めました。出場が決まっていた約二ヶ月間は、週に二回の練習がありました。仕事が終わってからの練習はとも厳しかったです。ホースを担いでの作業や、筒先を持つての放水活動など、今までには経験したことのない作業があり、慣れるまでにはかなり時間がかかりました。また、整列時や、配置につくまでは、選手全員の呼吸を合わせる必要があり、他の

選手との連携をとるのは何度練習しても難しく感じました。そして市消防操法大会当日。会場にはたくさんの方の消防団員が集まっており、分団の代表としてのプレッシャーから緊張もしましたが、厳しい練習の成果もあり無事満足いく演技が出来ました。正直最初は出場することに躊躇していましたが、演技を終えた後は自分が二ヶ月間かけて培ってきたものがすべて出せた事、そして何より自分の消防活動の能力向上が感じとられたので達成感を味わうことができました。

この度市消防操法大会に出場して消防の技術だけでなく、消防活動の大切さも学びました。普段からいつ火事がおきても出動できるように準備しておくこと、団員とチームワークを築いてみんなで一つの火事を消すという使命感、自分の住んでいる市のために少しでも貢献するという責任感、そしてこの度の市操法大会で培った消防技術を備えて、これからの消防活動に従事していきたいと思えます。



練習の成果

編集後記

だんだんと肌寒くなり、水ノ山では初冠雪も見られました。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今月号では自治体消防六〇周年記念「ひょうご消防のつどい二〇〇八」、第二回全国消防操法大会について紹介しております。ひょうご消防のつどいは、毎年開催されていますが、来年は豊岡市での開催が予定されています。

今回の消防団今昔には元加古川市消防団副団長中島康弘さん、丹波市消防団専任副団長岩澤宏一さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

全国消防操法大会の結果を二面に掲載しておりますが、神戸町消防団がポンプ車の部で見事優勝(第二位)に輝きました。おめでとうございます。惜しくも優勝は逃しましたが、ひょうごの消防団の操法レベルの高さを全国にアピールできたと思います。

空気も乾燥し、ちょっとした不注意から取り返しのつかないことにもなりかねません。火の元の使用には十分注意したいものです。

「こんにちは!ひょうごの消防団です」

http://www.hyogoshoubou.jp/

美と力を備えた
新しいテクノロジーが
社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する モリタです。

株式会社 **モリタ**

本社 〒544-0003大阪生野区小路東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119 FAX06(6754)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山

世界へ羽ばたく! GMの消防自動車

大槻ポンプ工業株式会社

●本社・営業本部
〒623-0021 京都府綾部市本町7丁目67-2
TEL (0773) 42-0681(代)
FAX (0773) 42-9229

消 防 団 服

甲 種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
乙 種 刺子・木綿

ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

株式会社 **三 浦 消 防**

姫路市竜野町1丁目1番地
電話 (姫路) 92-0447
(0792) 98-8663

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

屈折梯子付消防ポンプ自動車	消防救助工作車
化学消防ポンプ自動車	小型ポンプ積載車
水槽付消防ポンプ自動車	シバウラ小型動力消防ポンプ
普通型消防ポンプ自動車	各種消防用品
高発泡機付消防自動車	消防用ホース

株式会社 **吉谷機械製作所**

本社・工場 鳥取市古海356の1
TEL (0857) 23-2211(代)
FAX (0857) 27-1766